



青森農研フラッシュ

(地独)青森県産業技術センター・農林部門

研究成果

ニンニク周年出荷のための乾燥・貯蔵について マニュアルを作成しました

野菜研究所

ニンニクが -2°C で長期貯蔵されるようになってから、以前の常温保管で問題にならなかった障害が発生するようになりました。そこで、野菜研究所は東北農業研究センターと共同研究を行い、乾燥と貯蔵方法の見直しを行いました。今回、これまでの研究結果をまとめて、「ニンニク周年出荷のための収穫後処理マニュアル」を作成しましたので、紹介します。

ニンニク周年供給のための収穫後処理マニュアルの内容

●マニュアルの目次

- 1 ニンニクの周年供給と収穫後処理
- 2 乾燥
- 3 貯蔵
- 4 出庫後の発根・萌芽を抑制する高温処理

●主な記載内容

・乾燥のポイント

- 1 乾燥初期の換気の重要性
- 2 シート乾燥での風量比確保の重要性
- 3 シート乾燥での通風方式の比較
(押し込み式と吸引式のシート内の温度分布、温貯蔵した時の障害発生の特徴など)

・貯蔵障害の発生の特徴

- 1 乾燥時の条件が低温貯蔵時の障害発生率や程度への影響
- 2 貯蔵温度により発生する障害の種類
- 3 貯蔵期間と発生率、障害程度の関係

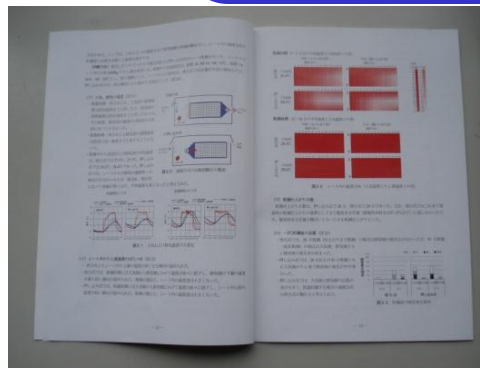
・出庫後の萌芽・抑制のための高温処理

- 1 J A等の専用処理施設用のマニュアル
※ 生産者の乾燥庫では温度制御が困難

ニンニク周年供給のための収穫後処理 マニュアルの一部写真



マニュアルの表紙



「シート乾燥」の通風方式別特徴のページ

※本マニュアルは、
野菜研ホームページ
<http://www.aomori-itc.or.jp/index.php?id=3107>
から独立行政法人農研機構
ホームページにジャンプシダ
ウンロードできます。

今後の展開

生産現場では、高温障害とみられる障害も発生していることから、発生する温度と時間の関係について研究をすすめます。

お問い合わせ

野菜研究所・栽培部まで(Tel.0176-53-7171)

観賞用水稻新品種「青系観177号・178号・179号」

農林総合研究所

当研究所では、観賞用水稻として、これまでに田んぼアート等に向く、葉色が白い「ゆきあそび」及び葉色の赤い「べにあそび」を育成してきました。今回、これらに加えて、「青系観177号」「青系観178号」「青系観179号」の3品種を新たに育成しました。

品種の特徴

「青系観177号」は、黄色と紫色が混じり合い、葉色が遠目には橙色に見えることから、田んぼアートでは橙色として利用することが出来ます。葉色の見頃は、最高分けつ期（7月中旬）から成熟期（9月上旬）頃です。「青系観178号」と「青系観179号」は、葉色は緑ですが、穂の色（籾の色）がそれぞれ赤茶色と紫色をしていることから、田んぼアートでは出穂期（8月上旬）以降に新たな図柄を出現させることができ、表現・演出方法等の拡大が期待されます。

品種特性一覧

項目	青系観177号	青系観178号	青系観179号	ゆきあそび	べにあそび	つがるロマン
葉色	橙	緑	緑	白	鮮やかな濃いピンク	緑
穂色(籾の色)	黄金	赤茶	紫	黄白	紫	黄白
芒の多少・長短	無・一	極多・やや短	極多・短	少・短	中・短	中・短
耐倒伏性	強	やや強	やや強	やや弱	強	中
出穂期(月日)	8月25日	8月4日	8月9日	8月13日	8月10日	8月5日
稈長(cm)	61	81	78	41	61	86
穂長(cm)	13.0	19.6	19.0	17.7	18.7	18.6
穂数(本/m ²)	286	399	392	257	352	392

農林総合研究所での試験成績（平成21～24年）



「青系観177号」の草姿

平成24年度田舎館村田んぼアート
(帯の部分などが「青系観177号」)



「青系観178号」の草姿



「青系観179号」の草姿

今後の展開

村おこし・町おこし等で田んぼアート等に利用できるよう、平成25年から作付用種子の販売を開始しました。平成26年作付用種子は、青森県産業技術センターホームページで平成26年度1月末頃から購入の募集を行います。

お問い合わせ

農林総合研究所・水稻品種開発部(Tel0172-52-4312)

リンゴコカクモンハマキの防除には適期に有効な薬剤を！

りんご研究所

近年、津軽地方のリンゴ園ではリンゴコカクモンハマキの被害が目立っています。多発園では従来から防除剤として利用していた有機リン剤やピレスロイド剤の効果が低下していることが明らかになりました。そこで、これらに代わる防除剤を用いた新しい防除体系を組み立てたのでご紹介します。

リンゴコカクモンハマキ



幼虫

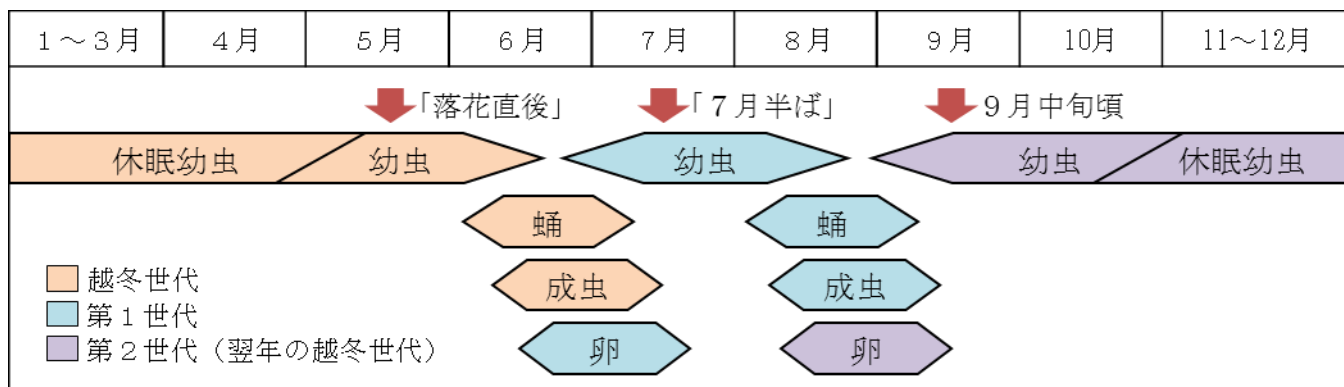


葉の被害



果実被害

リンゴコカクモンハマキは幼虫が葉を巻いて食害したり、葉が果実に接している隙間に潜り込み、果実表面も加害します。青森県では年に2世代発生します。殺虫剤の散布適期は春季に越冬世代幼虫が活動を開始する時期（「落花直後」）と、夏季に第1世代幼虫及び第2世代幼虫がふ化する時期（「7月半ば」及び9月中旬頃）の3回あります（下の図の矢印）。



リンゴコカクモンハマキの生活史

散布時期別の有効薬剤

各散布時期に効果の高い殺虫剤は以下の表の通りです。殺虫剤の連用は薬剤抵抗性発達の要因となるので、発生に応じて必要最小限の散布にとどめます。また、コンフューザーRやハマキコンーNなどの交信攪乱剤も積極的に利用して、発生密度の低下を図ってください。

散布時期	防除対象のステージ	リンゴコカクモンハマキ防除剤
「落花直後」	越冬世代幼虫	カスケード乳剤4,000倍又はアタブロンSC4,000倍
「7月半ば」	第1世代幼虫	サムコルフロアブル5,000倍
9月中旬頃	第2世代幼虫	又はフェニックス顆粒水和剤4,000倍

お問い合わせ

りんご研究所・病虫部まで (TEL0172-53-6132)

県産スギを使ったパーソナルチェアを開発しました

林業研究所

林業研究所木材加工部では、県産木材の家具等への利用を図るため、これまでに開発した湾曲集成材(弓なりに曲げた集成材)製造技術のノウハウを活かして新製品開発に向けた試作品製作を行っています。

今回紹介するパーソナルチェアは、青森県観光物産館アスパムで、平成24年8月10日(金)から19日(日)まで10日間開催された「第2回あおり木工フェア」に出展したものです。

青森県木工業組合連合会から展示の要望があり、当研究所の実績紹介を行いました。

パーソナルチェアのコンセプトと工程

●コンセプト

あぐらのかけるパーソナルチェア。3種6部材を一つの型で作る。

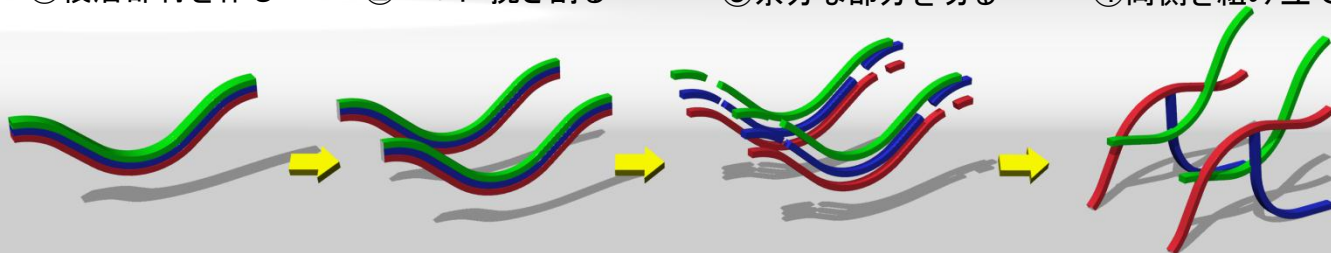
●工程

①積層部材を作る

②二つに挽き割る

③余分な部分を切る

④両側を組み立てる



パーソナルチェア



組み立て機による積層材の圧縮



主な仕様

サイズ

長さ = 1,070mm

幅 = 640mm

高さ = 943mm

重さ = 13kg

樹種:スギ

接着剤:酢酸ビニルエマルジョン

プライ数:5mm×7プライ

仕上げ:オイル仕上げ

(リボス社メルドスハードオイル)

第2回あおり木工フェアのポスター



あおり木工フェア展示風景



今後の展開

販売に向けて企業への技術移転を行います。

お問い合わせ

林業研究所・木材加工部 (問屋町) まで(Tel017-739-8551)

「光茂（みつしげ）」誕生！

「光茂」は気高系・糸桜系・兵庫系の三大系統を代表する種雄牛の血統を引き継いでいる種雄牛です。平成25年3月に本県の基幹種雄牛として認定されました。肉量面で優れる種雄牛の要望が高まっている中で、増体能力に優れる種雄牛が誕生しました。

光茂の特徴



登録番号：黒5163 (83.6)

生年月日：平成19年8月15日

産地：青森県十和田市

父：平茂勝 (鹿兒・薩摩)	祖父：第20平茂 — 気高 (鳥取・八頭) (鳥取・鳥取)
	祖母：ふくみ — 宝勝 (鹿兒・曾於) (鹿兒・鹿屋)
母：かずふく (青森・十和)	祖父：北国7の8 — 第7糸桜 (鳥根・大田) (鳥根・仁多)
	祖母：ふくこ2 — 安福165の9 (青森・十和) (岐阜・高山)

◆父は増体能力に優れる気高系「平茂勝」、母の父は質量兼備の糸桜系「北国7の8」、母の母の父が肉質に優れる兵庫系「安福165の9」です。

◆体積が豊かで性格は温順なため、産子は繁殖雌牛にも利用可能と思われます。

◆交配相手を選ばずどんな系統の雌牛でも高い枝肉成績が期待できます。

光茂産子の成績

◆現場後代検定の成績では、肉量に関する枝肉重量・ロース芯面積・バラ厚の3形質は、本県において歴代最高値を記録しました。また、脂肪交雑と上物率も優れた成績を示しており、質量兼備の種雄牛といえます。

項目	枝肉重量 (kg)	ロース芯 面積(cm ²)	バラ厚 (cm)	脂肪交雑 (BMSNo.)	上物率 (%)
光茂の平均値	484 (1位)	59.0 (1位)	8.3 (1位)	6.0 (6位)	59 (10位)
現場後代検定実施済種雄牛45 頭の平均値(平成14~23年度)	424	52.1	7.3	5.2	44

(注) ()内は、平成14~23年度に現場後代検定を実施した種雄牛45頭と比較した時の本牛の順位

◆基幹種雄牛指定後に出荷された一般肥育牛の去勢2頭はどちらも最高ランクA5となりました(BMS No. 10と8で、いずれも母の父は第1花園)。



写真 「光茂」産子のロース芯断面

去勢(一般肥育)
光茂×第1花園×安平
枝重567.5kg
ロース芯71cm²
BMS No. 10
格付 A5

お問い合わせ

畜産研究所・和牛改良技術部 (Tel0173-26-3153)

編集・発行



地方独立行政法人 青森県産業技術センター 農林総合研究所

〒036-0522 青森県黒石市田中82-9

Tel 0172-52-4346 FAX0172-52-4399

ホームページ <http://www.aomori-itc.or.jp/index.php?id=552>